

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学部

基準1 理念・目的

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	A
		(3)学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	A
		(4)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、関連性があるものになっていますか。	A
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則またはこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧やホームページなど)との記述の齟齬	A
		(2)教職員、学生、社会に対する刊行物、ホームページ等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知 ・社会に対しての公表	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。

0101 2016年の学部改組の際に、大学の基本理念・使命・教育目的に基づいて、学部および学科の研究教育上の目的、育成する人材像を全面的に改定し、明確に設定[0101a][0101b]して明文化した。さらに、2021年度のカリキュラム改革にむけ、若干の見直しを行った。

0102 経営情報学部/経営総合学科の教育研究上の目的などについては、「学生便覧」により提示[0101a]し、構成員(教職員および学生)への周知を図っている。

0102 「経営情報学部教育理念・使命ポスター」[0102a]を作成し、学部建物内の数カ所に掲示することで、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性について、在学生に対する周知を図っている。

0102 「経営情報学部教育理念・使命クリアファイル」[0102b]を作成し、新入生オリエンテーションの際に新入生に配布することにより、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性の周知を図っている。

0102 中部大学ホームページ「情報公表」[0102c]において、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念を学内外に広く公表している。2016年度設置の経営総合学科については、設置の際に作成した設置届出書（趣旨理由書）[0102d]をもとに学生便覧[0101a]、および学科パンフレットを作成し、また、そのパンフレットをベースとして、学科ホームページ[0102e]が作成されている。パンフレット[0102f]などは学生募集向けに高校生にわかりやすい言葉に書き換えられていたりするものの、これらの間に記述上の齟齬はない。

0102 中部大学ホームページの経営情報学部ホームページ[0102e]において、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念、学部(学科)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的の関連性について学内外に示している。

0102 中部大学経営情報学部経営総合学科パンフレット[0102f]に、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念を掲載し、受験生やその父母を中心とする学外に対して示している。

0102 学部広報委員会において学部のホームページやパンフレットの内容に関する検証を行い、必要に応じて修正を行っている[0102g]。

0102 2020年度には、2021年度のカリキュラム改革に向け、「学生便覧」[0101a]の学科の特色と教育目標、教育方針の部分について改訂を行った。

長所・特色 ≪箇条書き≫ *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの

項目 No. 特になし

項目 No.

課題事項 ≪箇条書き≫ *改善すべき点、向上すべき点

項目 No. 特になし

項目 No.

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない

0102 ポスターの掲示やクリアファイルの配布などを通じて、在学生に本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性の周知を図っている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0102	学部ホームページにおいて学部(学科)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的の関連性や学部学科の教育上の目的などについて、よりわかりやすい表現に改めていくと共に、在学生や受験生へのさらなる周知をはかっている。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出 区分
項目No.	記号		
0101	a	学生便覧（該当箇所：2019年版pp.109-110、2020年版pp.109-110）	○
0101	b	経営情報学部 経営総合学科「設置届出書」資料1 https://www3.chubu.ac.jp/about/application/	○
0102	a	「経営情報学部教育理念・使命ポスター」	○
0102	b	「経営情報学部教育理念・使命クリアファイル」	○
0102	c	中部大学ホームページ「情報公表」内「学部・学科の情報」 https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/undergraduate_list/	○
0102	d	経営情報学部経営総合学科「設置届出書 設置の趣旨理由書（該当箇所:pp2-5）」 https://www3.chubu.ac.jp/about/application/	○
0102	e	中部大学ホームページ「経営総合学科」 https://www3.chubu.ac.jp/business/department/management_synthesis/	○
0102	f	「経営総合学科パンフレット」	○
0102	g	経営総合学科パンフレット2020	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 2 内部質保証

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0203	方針および手続きに基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(4) 外部評価（学内のピアレビュー受審を含む）を自己点検・評価に取り入れていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0203	2019 年度に行われた自己点検・評価において詳細点検[0203a]を実施し、ピアレビューを受けると共に、2020 年度には年度点検を実施した。
0203	2019 年度自己点検・評価の詳細点検の結果およびピアレビューの結果について、教授会にて公表[0203b]され、教職員間で情報を共有した。
0203	2019 年度自己点検・評価のピアレビューの結果をもとに「改善計画書」[0203c]を作成、改善計画を実施、その結果は「改善報告書」[0203d]で報告を行った。
0203	2020 年度自己点検・評価の年度点検の結果について、教授会にて公表[0203e]し、教職員間で情報を共有した。
0203	個々の教員はFD活動の一環として年度始めに「教育活動重点目標」を設定し、年度末に「自己評価シート」[0203f][0203g]による振り返りを行い、教育の質の向上と各々の資質向上[0203h]に努めている。その自己評価を主任会議において点検して評価し、学部ポイント（全体の60%分）として点数化して、高等教育推進部が運営する教育活動顕彰制度に情報提供[0203i][0203j]することで総合評価・顕彰を行っている。
0203	2019 年度および2020 年度の教育活動顕彰制度の学部ポイントの評価基準・方法の見直しについて、主任会議[0203k][0203l]にて検討を行った。
長所・特色 < 箇条書き > * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0203	2019 年度にピアレビューを受審し、その結果をもとに改善を行っている。[0203a]。
項目 No.	
課題事項 < 箇条書き > * 改善すべき点、向上すべき点	

項目 No.	特になし
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0203	2018年度より本学で試行実施、その後本格実施している大学の自己点検・評価業務を積み重ねてきている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0203	経営情報学部と関わりの深い企業や高校、在学生保護者、卒業生からなる外部評価委員会を立ち上げ、外部評価を実施することを検討する[0203d]。
0203	今後も本学で実施している自己点検・評価を有効に活用していくことで、内部質保証システムを機能させていく。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0203	a	2019年度（対象年度：2017-2020年度）自己点検・評価シート「経営情報学部」（中部大学ホームページ「情報公表」2019年度（対象年度：2017-2020年度）自己点検・評価の結果について） https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/evaluate/self_evaluation/2018report/	△
0203	b	2019年度第2回経営情報学部教授会議事録	○
0203	c	2019年度（対象年度：2020年）自己点検・評価 改善計画書	○
0203	d	2019年度（対象年度：2020年）自己点検・評価 改善報告書	○
0203	e	2020年度第2回経営情報学部教授会議事録	○
0203	f	2019年度 教育活動重点目標・自己評価シート	○
0203	g	2020年度 教員活動重点目標・自己評価シート	○
0203	h	教育活動顕彰制度—より良い教育を目指して—（2020年度実施要項）	○
0203	i	2019年度経営情報学部評価シート	○
0203	j	2020年度経営情報学部評価シート	○
0203	k	2019年度第10回経営情報学部主任会議事録	○
0203	l	2020年度第10回経営情報学部主任会議事録	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 4 **教育課程・学習成果（1）**

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、学位授与の方針（DP）を定めて、公表していますか。	(1) 課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針（DP）の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・学位授与の方針（DP）の設定	A
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施の方針（CP）を定めて、公表していますか。	(1) 学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施の方針の設定になっていますか。	A
		(2) 学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施の方針の設定になっていますか。	A
		(3) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施の方針を社会に対し、公表していますか。	A
		(4) 学位授与の方針（DP）と教育課程編成・実施の方針（CP）は適切な関連性となっていますか。 ・「学位授与の方針（DP）」⇔「教育課程の編成・実施の方針（CP）」との整合	A
0403	教育課程の編成・実施の方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1) 教育課程の編成・実施の方針（CP）と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2) 教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。（ナンバリング、カリキュラムマップ）	A
		(3) 単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	A
		(4) 個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	S
		(5) 授業科目の位置づけ（必修、選択等）は適切ですか。	A

0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6)各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(7)学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明	*「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0401・0402	学部学科の学位授与の方針（DP）、教育課程の編成・実施方針（CP）については、学部改組の際に、その適切性を十分に検討した上で設定し、さらに2021年度カリキュラム改革に向けて見直しを行っている。また、その内容は中部大学ホームページ内「情報公表」[0401・0402a]において広く社会に公表している。
0401・0402	「学生便覧」[0401・0402b] [0401・0402c]により、学部学科の学位授与の方針（DP）、教育課程の編成・実施方針（CP）を在学生に示している。
0402	履修モデルを設定し、その活用法をガイドするパンフレット [0402d] を作成し、在学生に配布している。
0402	2020年度にはこれまでの「17の履修モデル」を改め「5つの履修モデル」とし、学生に対する履修指導のため「履修モデルガイド」（電子版）[0402e]をオリエンテーション時に学生に配布した。
0403	CPに基づき、これまでのカリキュラムにおいて当初の目的が十分に達成できなかった部分や時代の要請に対応するなどのため、カリキュラムの見直しを行い、2021年より新カリキュラムをスタートさせることとした [0403a]。
0403	2021年度のカリキュラム改革に向けカリキュラムマップ [0403b] を作成した。
0403	「学生便覧」[0403c] [0403d]により、養成する4つの人材像の目的を達成するための科目区分や年次配当などが説明され、教育目標と卒業要件・教育課程の関連性を在学生に示している。また、毎年便覧改定の際には学科主任がその確認を行っている。
0403	学部改組の際の教育課程の編成にあたっては、CPに沿った体系的、かつ、学習内容の順序性を考慮した科目の配置を行い、すべての授業科目の分類・難易度等について、「科目ナンバリング表」[0403e]により在学生に示している。
0403	高大接続への配慮に関連し、特に配慮が必要な推薦等入学者に対して、入学前ガイダンスを実施すると共に、充実した入学前教育プログラムを実施している [0403f]。入学前教育の一部としているビジネス数学については、フレッシュマンテスト時にビジネス数学のテストを実施すると共に、その点数によってクラス分けを行い、習熟度別クラス編成により1年春学期のビジネス数学の授業を実施している [0403g]。
0403	初年次教育、キャリア教育等は、全学共通教育科目として適切に配置[0403h] [0403i]されているほか、学部専

門科目におけるキャリア教育科目の設置[0403j][0403k]や正課外での学部キャリア支援行事（ビジネスマナー講座）[0403l]などを実施している。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0402	「履修モデルガイド」（電子版）を作成して学生に配布し、学生に対する履修指導に活用している。
項目 No. 0403	これまでのカリキュラム上の課題を解決すると共に、時代の要請に合わせて教育内容を改善するため、カリキュラム改革を行った。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0403	カリキュラムマップが作成されているものの、十分に周知・活用されていない。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0403	シラバス第三者点検[0403m]により、学科のCPと個々の授業科目の内容および方法の適合性の確認を行った。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0403	学生が自らの興味・関心、能力、将来の進路に応じたより適切な履修が行えるよう、「カリキュラムマップ」・「履修モデル」の活用方法についてさらなる検討を行う。
0403	併設校以外の一部高校と高大連携の取り組みを実施する。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0401・0402	a	中部大学ホームページ内「情報公表」 https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/undergraduate_list/	○
0401・0402	b	2019年度学生便覧（該当箇所pp. ⑭―⑯）	○
0401・0402	c	2020年度学生便覧（該当箇所pp. ⑭―⑯）	○
0402	d	17の履修モデル	○
0402	e	2020履修モデルガイド	○
0403	a	学部教育課程変更申請書	○
0403	b	カリキュラムマップ	○
0403	c	2019年度学生便覧（該当箇所pp. 109-116）	○
0403	d	2020年度学生便覧（該当箇所pp. 109-116）	○

0403	e	科目ナンバリング表(2019年度および2020年度)	○
0403	f	入学前教育課題	○
0403	g	ビジネスデータ分析入門	○
0403	h	2019年度学生便覧(該当箇所pp. 112-113)	○
0403	i	2020年度学生便覧(該当箇所pp. 112-113)	○
0403	j	2019年度学生便覧(該当箇所pp. 114-116)	○
0403	k	2020年度学生便覧(該当箇所pp. 114-116)	○
0403	l	2019年度経営情報学部ビジネスマナー講座開催のお知らせ	○
0403	m	シラバスの第三者点検について(依頼)	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学部

基準 4 教育課程・学習成果（2）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1) 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間または学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	S
		(2) シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行われていますか。 ・授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・授業内容とシラバスとの整合性の確保	S
		(3) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法を講じていますか。	S
		(4) 授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・研究指導計画(研究指導の内容および方法、年間スケジュール)を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	S
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1) シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	A
		(2) 既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・規程等に基づく単位認定のプロセス	A
		(3) 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	A

0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	S
		(5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。	A
		(6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	S
		(7) 学位授与に係る責任体制および手続きは明確に示されていますか。	A
		(8) 適切な学位授与を行っていますか。	S

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

<p>現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。</p>
<p>0404 単位制度の趣旨を考慮した単位の実質化を図るための措置として、CAP制(履修単位上限) [0404a] [0404b] が導入されているとともに、学修が不十分な学生が単位修得で問題が生じないよう、進級要件[0404c] [0404d] が定められている。</p> <p>0404 新入生のやる気に応えるため、2021年カリキュラム改革で1年春学期の科目を見直すと共に、1期の履修単位上限を20単位から22単位に変更することにした [0404e]。</p> <p>0404 卒業要件の変更を検討し、2021年度からは自由科目を20単位とし、卒業要件の124単位の範囲で副専攻を修得できるようにした [0404e]。</p> <p>0404 シラバスの記載内容には、カリキュラムの中での位置付け、身につく基礎力、授業の主旨(概要)、具体的達成目標、授業計画、授業方法、成績の評価方法、成績の評価基準、教科書、参考文献[0404f]があり、シラバスに必要な内容を網羅している。</p> <p>0404 第三者によるシラバス点検を実施[0404g]し、授業主旨、授業計画(授業内容・授業外学習)、授業方法、評価方法などがDP・CPに基づく「カリキュラムの中での位置付け」とDPに対応した「身につく基礎力」などに相応しいか否かを判断し、不備がある場合には科目担当者に修正を求めている。</p> <p>0404 授業内容とシラバスの整合性の確保に関しては、学期末に実施される学生による「授業評価」の自由記述、授業改善のための学生懇談会の学生意見等から間接的に検証[0404h]しているものの、基本的にはこの点検は科目担当者本人が行い、改善も担当者に委ねられている。</p> <p>0404 授業時間外における学生の学修を促進するために、シラバスにおいて「授業外学習」 [0404i]欄を毎回の授業ごとに設けている。</p> <p>0404 授業編成および管理運営に関して、全学共通教育科目の他、一部の学部専門科目についても、授業形態や内容、必要設備に応じて受講者数の制限を設けている [0404j] [0404k]。また、学部コア科目や学部基礎科目、受講生が多く見込まれる科目などでは、2～3の複数クラスを設置し、また、ゼミナールなどにおいては定員設定を厳格に行い、少人数クラスでの指導を徹底している。また、過去の受講者数などを参考に受講学生数を予測してクラス数の決定、曜日や時限の変更、同一時限に配置する科目の変更などを行い、クラスサイズの適正化を図っている。</p>

0404 学期はじめのオリエンテーションにおいて、その学期の履修上の注意を与えるなどの履修指導ガイダンスを行うとともに、その翌日には、履修相談の時間をもうけ、学生からの相談対応[0404l][0404m]を行っている。また、指導教授による履修相談も、随時、行われている。

0405 シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされているかについては、シラバスに明示された成績の評価方法[0404f]および成績の評価基準[0405a]にしたがって、各教員（評価責任者）が成績評価を行っている。

0405 留学や編入学に伴う既修得単位の認定に関しては、中部大学学則第 10 条・第 11 条[0405b]に明記されており、具体的な科目の認定については、学科主任が原案を作成した上で主任会議において協議・決定し、教務支援課に提案した上で、教授会で承認することになっている。

0405 成績評価方法の客観性・厳格性に関しては、「成績評価の方法」「成績評価の基準」についてシラバスの第三者点検を実施[0404g]し、確認しているが、成績評価自体の客観性、厳格性を組織的に確認することはしていない。

0405 学生は成績評価に疑問がある場合に確認できる制度が設けられている [0405a]。

0405 卒業要件は、中部大学学則第 18 条[0405c]および学生便覧[0405d][0405e]に明記されており、新入生オリエンテーションなどでも学生に周知が図られている。

0405 学位審査の客観性および厳格性を確保するために、卒業研究については、他の教員や学生に公開する形で、すべての学生が卒業研究発表会を実施することが義務づけられている [0405f]。これまでは学生による卒論発表の形態や成果物の保管などは各教員の裁量に委ねられていたが、2018 年度からは、すべての卒業論文を各指導教員より学科主任に提出[0405g]することとし、成果物に関しては、一定期間事務室にて教員が自由に閲覧できるようにしている。

0405 学位論文審査基準は、学科の「卒業研究」のシラバス[0405h]の「成績評価方法」「成績評価基準」に明記されているが、具体的に、どの程度のものがどのような評価を得るのかの基準は明文化されておらず、実際には、各指導教員の裁量に委ねられている。

0405 学位授与に係る責任体制および手続は中部大学学位規程第 5 条[0405i]に明確に示されている。学部教授会 [0405j][0405k]において卒業認定がなされ、中部大学学位規程に則り卒業認定されたものに学位授与される。

長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0404	カリキュラムの見直しに伴い 1 期の履修単位上限を 20 単位から 22 単位に変更し、学生それぞれの能力ややる気に応じて学修を進めることができる体制とした。
項目 No. 0404	卒業要件の変更を検討し、2021 年度からは自由科目を 20 単位とし、卒業要件の 124 単位の範囲で副専攻を修得できるようにした。
項目 No. 0405	2019 年度よりすべてのゼミにおいて公開の卒業発表会を実施すると共に、すべての学生の卒業研究の成果物を教員が自由に閲覧できる体制とすることで透明性を担保している。
項目 No. 0405	毎年のシラバスの第三者点検[0404g]により、教育内容、授業計画、成績評価基準等の適切性について第三者による確認を行っている。
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0404	シラバスと授業内容の整合性については、「授業評価」の結果などから間接的に検証する以外の方

	法を持っていない。
項目 No. 0405	ほとんどの授業科目における成績評価の基準等については、学部内で厳密な指針はなく、各担当者の判断に委ねられている。
項目 No. 0405	卒業論文の審査基準は特に明文化されておらず、個々の学生の論文審査は指導教授の判断に委ねられている。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0405	シラバスの第三者点検により、教育内容、授業計画、成績評価基準等の適切性の確認を行っている（2019年、2020年）[0404g]

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0404	シラバスと授業内容の整合性について、より直接的に検証できる方法を検討。
0405	卒業論文の評価（審査）基準のガイドライン策定の検討

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0404	a	2019年度学生便覧（該当箇所p. 110）	○
0404	b	2020年度学生便覧（該当箇所p. 110）	○
0404	c	2019年度学生便覧（該当箇所p. 363）	○
0404	d	2020年度学生便覧（該当箇所p. 363）	○
0404	e	履修単位の上限の変更依頼について	○
0404	f	シラバス「各科目」における各項目	○
0404	g	シラバス記載内容における第三者点検について（依頼）	○
0404	h	魅力ある授業づくりのために https://quest.chubu.ac.jp/LessonEval/L001VIEW.do	△
0404	i	シラバス「各科目」における授業計画「授業外学習」	○
0404	j	2019年度受講者数制限科目一覧	○
0404	k	2020年度受講者数制限科目一覧	○
0404	l	2019年履修相談一覧	○
0404	m	2020年履修相談一覧	○
0405	a	学生部便No. 186「成績について」（該当箇所p. 2）	○
0405	b	中部大学学則第10条・第11条	○
0405	c	中部大学学則第18条	○

0405	d	2019年度学生便覧（該当箇所p. 111）	○
0405	e	2020年度学生便覧（該当箇所p. 111）	○
0405	f	経営情報学部 経営総合学科「設置届出書」設置の趣旨理由書（該当箇所pp. 10）	○
0405	g	卒論の提出について（依頼）	○
0405	h	経営総合学科シラバス「卒業研究」	○
0405	i	中部大学学位規定第5条	○
0405	j	2019年度第11回教授会議事録（卒業判定教授会）	○
0405	k	2020年度第11回教授会議事録（卒業判定教授会）	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果（3）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	学位授与の方針（DP）に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。	(1) 学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標	A
		(2) 成績分布、試験放棄（登録と受験の差）、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	A
		(3) 学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について、学位授与の方針（DP）、教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2) 自己点検・評価の結果に基づき、各組織が改善・向上に取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明	* 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0406	学習成果の指標として Grade Point Average (GPA) 制度[0406a][0406b]を導入し、学習成果の確認や教育指導に利用している。
0406	中部大学教育支援 Tora-net portal[0406c]により学習成果（学生の出席や単位修得の状況、各科目の成績、

各学期のGPA等)に関する情報の把握と共有がなされている。

0406 進級判定を教授会で審議・承認することになっており、進級状況は学部教授会[0406d][0406e]において共有されている。

0406 成績分布、試験放棄(登録と受験の差)、進級などの実績については、『教育・研究活動に関する実態資料』[0406f]により教員各自が検証しているが、学部学科全体で、その実態について共有する仕組みは特にない。

0406 個々の教員レベルでは、ルーブリックなど、さまざまな学習成果の測定方法が活用されているものの、学部学科における学習成果の測定方法の改善などの組織的取り組みはなされていない。

0407 学習成果の指標としてGPA および単位修得数(あるいは率)を用い、特に単位修得率の低い学生には、当該学期末から翌学期始めにかけて面談を行って面談記録[0407a]を残すなど、個別指導に活用している。

0407 各教員が年度ごとに重点目標を掲げ、年度末に達成度および改善点について自己点検・評価[0407b][0407c]を実施し、次年度以降の改善・向上に努めている。

長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0407	中部大学教育支援 Tora-net portal [0407a]により、各教員は指導学生の単位修得状況を把握するとともに、取得単位数の少ない学生に対しては、最低学期ごとに個別面談を実施している。また、その結果を共有のために Web 上に記録を残している。
項目 No.	
課題事項 <箇条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0406	学部学科全体としての学習成果の把握・評価を実施するためのアセスメント・テストや卒業生への意見聴取などが実施にいたっていない。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【留意点】等)への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0407	「学生による授業評価」を毎年度実施している。結果は授業担当教員にフィードバックされ、教員からのコメントを回収している。結果を授業改善に活かす取り組みについては、個々の教員に委ねられている。

<今後の改善・向上計画>

項目No.	課題事項と改善・向上方策(到達目標を含む)
0406	学習成果の学部全体での測定の実施検討
0406	卒業生の就職追跡調査の実施検討
0406	測定結果に基づいた教育課程およびその内容、方法の適切性についての評価点検の実施の検討

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出 区分
項目No.	記号		
0406	a	2019年度学生便覧1. 履修要項の7. GPA制度 (該当個所p. 4-5)	○
0406	b	2020年度学生便覧1. 履修要項の7. GPA制度 (該当個所p. 4-5)	○
0406	c	教育支援 Tora-Net Portal https://tora-net.sti.chubu.ac.jp/portal/top.do	△
0406	d	2019年度第12回教授会議事録 (進級判定教授会)	○
0406	e	2020年度第12回教授会議事録 (進級判定教授会)	○
0406	f	2019年度教育・研究活動に関する実態資料	△
※0407	a	教育支援 Tora-Net Portal 内学修ポートフォリオ「面談記録」 https://tora-net.sti.chubu.ac.jp/portal/top.do	△
0407	b	2019年度 教育活動重点目標・自己評価シート	○
0407	c	2020年度 教員活動重点目標・自己評価シート	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織 経営情報学部

基準5 学生の受け入れ

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP) を定めて、公表していますか。	(1) 学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	A
		(2) 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とホームページ等の媒体間の記述の統一	A
		(3) 社会に対し公表していますか。	A
		(4) 下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP) の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
0502	入学者受入れの方針(AP) に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1) 入学者受入れの方針(AP) と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	A
		(2) 入学者受入れの方針(AP) に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施の方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	A
		(3) 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	A
		(4) 公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5) 入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A

0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	<p>(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。</p> <p>【学士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学定員に対する入学者数比率 ・ 編入学定員に対する編入学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 <p>【修士課程、博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 	S
0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。	<p>(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部内委員会等において根拠資料に基づいた定期的な検証 	S
		<p>(2) 自己点検・評価の結果に基づき、各組織が改善・向上に取り組んでいますか。</p>	S

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

<p>現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。</p>
<p>0501 卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえ、入学者受入れの方針(AP) [0501a]を規定し、大学ホームページ上の「情報公表」のページにて、広く社会に公表している。</p>
<p>0501 「2021 年度大学入試要項」(2020 年度大学入試要項も同一) [0501b]では、その最初のページにおいて「本学は、各学科の3つのポリシーをホームページ上で公表しています。」として、大学ホームページ上の「情報公表」のページのAPを参照するように記述されており、入試要項とホームページの記述に齟齬は起こり得ない。</p>
<p>0501 AP[0501a]は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の学生像、および、判定方法を踏まえた設定になっている。</p>
<p>0502 AP[0501a]では4つの求める人間像が示されており、それに対応すべく多様な入試形態、一般試験については対応する選択科目を設けるなど、学部の求める多様な入学者を選抜するにふさわしい、さまざまな入学者選抜方法 [0502a]が用意されている。</p>
<p>0502 入学者選抜において透明性を確保するための措置として、過去問題や合格者最低点を公表[0502b]している。</p>
<p>0502 A0/ポートフォリオ入試の入試区分定員を30名から15名に変更している [0502d]。</p>
<p>0502 大学の入試・選抜委員会の場で合否判定の原案が示された後、学部の入学者選抜委員会[0502e]にてその原案の検討を行い、調整を図り、再び大学の入試・選抜委員会[0502f]において最終的な合否判定がなされることになった。</p>

ており、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制が適切に整備されている。
0502 採点および合否判定は受験者氏名等を伏した上で実施し、試験の評価（点数）[0502g]によってのみ行われており、公正な入試選抜を実施している。
0502 出願資格などは大学統一の基準で行われており、全ての受験者[0501b]への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施している。
0503 定員に対する入学者数比率[0503a]については、近年の入学定員管理厳格化の要請の下、充足率 1.0 に近づけるよう、最大限の努力が行われ、おおむね目標を達成している。
0503 求める学生像と入試形態との整合をはかるため、2020 年度入試において入試区分定員の配分について精査し、変更を行った。
0504 2019 年度入試および 2020 年度入試において、学生募集や入学者選抜方法の適切性については、年度始めの主任会議において、入試種別ごとの志願・入学の状況、入試種別ごとの入学時のフレッシュマンテストの状況、入試種別ごとの在学生の単位修得や GPA のデータ[0504a][0504b]などに基づいて検証を行い、課題を明らかにしている。
0504 主任会議にて、入学者の状況などを勘案しての指定校推薦の選抜基準（評定平均）の見直し、AO/ポートフォリオ入試の実施内容や選抜方針などの検討・見直しを行うと共に、その検証を定期的に行っている。

長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0504	入試種別ごとの志願・入学の状況、入試種別ごとの入学時のフレッシュマンテストの状況、入試種別ごと（あるいは出身高校別）の在学生の単位修得や GPA、留年・退学などのデータなどに基づいて検証を行い、課題を明らかにしている。
項目 No. 0504	毎年、AO/ポートフォリオ入試の実施内容および選抜方法の見直しを行うとともに、AO/ポートフォリオ入試の入試区分定員を 30 名から 15 名に変更して合格者を厳選することで入学者の質の改善を図っている。
項目 No. 0503	求める学生像と入試形態との整合をはかるため、2020 年度入試において入試区分定員の変更を行った。
項目 No. 0504	入学者の状況などを勘案しての指定校推薦の選抜基準（評定平均）の見直しを行った。
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	特になし
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0502	AO/ポートフォリオ入試において、入学後の授業対応力の確認ができる選抜方法を開発、実施している [0502c]。
0504	2020 年度推薦試験について、入学後の成績状況などを考慮し、指定校推薦の成績基準や定員枠の見直しを行

った[0504c]。

0504 2021年度推薦試験について、入学後の成績状況などを考慮し、指定校推薦の成績基準[0504d]や定員枠の見直しを行った。

0504 学生募集活動、入学者選抜の状況や課題については、定期的に主任会議に報告・検討され、その実施についての評価・点検が行われている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0504	学生募集および入学者選抜方法の全般にわたる詳細な検証と、それに基づく学生募集上の戦略記策定と入学者選抜方法の改善を行う。
0504	A0/ポートフォリオ入試において、意欲ある入学者を見極め、選抜するための方法の開発と実施。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0501	a	中部大学ホームページ内「情報公表」入学者受入れの方針(AP) https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/undergraduate_list/	○
0501	b	2021年度中部大学入試要項	○
0502	a	中部大学受験生サイト https://adm.chubu.ac.jp/entrance_exams/guidelines/	○
0502	b	中部大学入学ガイド	○
※0502	c	2021年度ポートフォリオ入試問題（課題）	△
0502	d	2020年度中部大学入試情報 募集人員	○
0502	e	経営情報学部入学者選抜委員会規程	○
0502	f	中部大学入試・選抜委員会規程	○
0502	g	入試・選抜委員会の判定資料	△
0503	a	中部大学入学者数（2021年度入試）	○
0504	a	2019年度経営情報学部主任会議議事録	○
0504	b	2020年度経営情報学部主任会議議事録	○
※0504	c	中部大学指定校基準(2020年度入試)	△
※0504	d	中部大学指定校基準(2021年度入試)	△

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準6 教員・教員組織

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1) 大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	A
		(2) 教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(3) 学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。	A
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1) 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	A
		(2) 規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	A
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上および教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1) FD活動を組織的に実施していますか。	A
		(2) 教員の教育活動、研究活動、社会活動等を評価し、その結果を活用していますか。	A
0605	教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	A
		(2) 自己点検・評価の結果に基づき、各組織が改善・向上に取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
0602	学部の専任教員数について、大学設置基準の人数[0602a]は満たしているものの、分野の偏りが見られる。
0602	教育上主要と認められる授業科目について、基本的には専任教員(教授、准教授、講師または助教)[0602b]で、実施できる教員配置となっている。また、女性教員、外国人教員も一定数おり、バランスのとれた構成となっている。
0602	教養教育の運営体制は、2019年度、2020年度においては人間力創成総合教育センター[0602c]において整備しており、学科教員も一部の全学共通教育科目を担当している。
0603	教員組織、昇格などの教員人事については、中部大学教員資格基準、および学部内規で明確化されている。また、教員の採用や昇格の基準についての規程(学部内規)の見直しを進めている[0603a][0603b]。
0604	学部にFD委員を置くとともに、前年度末に次年度の重点目標の設定を行って、全学のFD委員会に提出し点検を受け、当該年度の翌年度始めに目標の達成度を振り返る活動報告書[0604a]を全学のFD・SD委員会[0604b]に提出して点検を受けることになっている。
0604	経営情報学研究科と共催で、ハラスメント防止のためのFD活動を実施した[0604c]。
0605	年齢構成、国際性、男女比、専門分野などを含めた教員組織の適切性については、カリキュラム改正や新規採用人事を実施する際に、都度、学部長や主任会議[0605a][0605b][0605c]などにおいて検討が加えられている。
0605	年度始めに各教員が重点目標の設定を行い、年度末に自己点検・評価[0605d][0605e]を行うことで、エビデンスに基づく点検評価を実施しており、また、『教育・研究活動に関する実態資料』などのエビデンスから教員組織の適切性の確認ができるものの、組織全体としての点検・評価や組織的な目標設定の実施などにはいたっていない。
長所・特色 <<箇条書き>> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特になし
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> * 改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	
項目 No. 0603	特定分野における教員不足と高齢化が進んでいる。
項目 No. 0605	教員組織全体としてのエビデンスに基づく点検・評価を行うシステムの構築や組織的な目標設定をした改善・向上を検討する必要がある。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【留意点】等)への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 * 成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない

0604 教員の採用や昇格の基準についての規程（学部内規）の見直しを進めている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0602	教員組織における分野バランスを是正する（特に情報分野の教員採用）。
0604	活発なFD活動を計画・実施していく。
0605	教員組織の適切性についての定期的な検証を実施していく。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0602	a	中部大学 法令定員と教員組織 [2020年度] https://www3.chubu.ac.jp/attach/facts_figures/data/1-05.pdf#page=1	○
0602	b	中部大学 教員数[2020年度] https://www3.chubu.ac.jp/attach/facts_figures/data/1-06.pdf#page=1	○
0602	c	人間力創成総合教育センター規程	○
0603	a	中部大学教員資格基準 大学ホームページ https://www2.chubu.ac.jp/faculty_staff/regulation/main.php?menu=mokuji	○
※0603	b	経営情報学部 教員資格および大学院担当資格基準	△
0604	a	2019年度学部等におけるFD活動評価点検報告書 https://www3.chubu.ac.jp/university_education/evaluation/	○
0604	b	中部大学FD・SD委員会規程	○
0604	c	経営情報学部・大学院経営情報学研究科FD活動開催について	○
0605	a	主任会議の位置づけ	○
0605	b	2019年度経営情報学部主任会議事録	○
0605	c	2020年度経営情報学部主任会議事録	○
0605	d	2019年度教育活動重点目標・自己評価シート	○
0605	e	2020年度教員活動重点目標・自己評価シート	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準7 学生支援

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2) 学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応	A
		(4) 学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的（安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等）の支援	A
		(5) 学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生のキャリア支援を行うための体制（学部との協力・連携を含む）の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施	S
		(6) インターンシップは十分に実施していますか。	S
		(8) 学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。

0702 1・2年生はスタートアップセミナー担当者が指導教授となるが、2年生については毎週の授業を担当する入門ゼミナール担当者を副指導教授とすることで、学生の指導体制を強化している[0702a]。

0702 指導教授の他、学年担当指導教授をおき、オリエンテーションや学年行事を担当している。また、キャリア開発担当教員、インターンシップ担当教員などをおき、学生の学修・生活・進路に関する適切な指導を行う体制を構築している[0702a]。

0702 留学生に対する支援に関しては、指導教授の他に留学生担当教員をおき、オリエンテーション時の履修指導をはじめ、その他のさまざまな支援を行っている[0702a]。

0702 学生の能力に応じた補習教育を行う場として、学習支援室[0702b]における学習支援が行われている。

0702 多様な学生の修学に関する適切な支援を実施するため、1年次から4年次まで少人数のゼミナールを必修科目として設置[0702c][0702d]し、学生の能力・興味関心・進路に応じたきめ細かな修学支援を実施している。

0702 正課外教育としては、大規模な総合大学のメリットを活かした豊富な国際交流プログラム[0702e]、キャリア支援プログラム[0702f]、大学独自資格（地域活性化リーダー[0702g]・地域創生メディエーター等[0702h]）など、さまざまな課外活動の用意がされている。

0702 学生の学修支援に関しては、おもに指導教授が教育支援Tora-net portal[0702i]内の学修ポートフォリオにより状況把握を行うとともに、成績不振者については、学期ごとに成績不振者を個別に呼び出して面談・指導を行い、また、その内容はWeb上に記録し、情報の共有がなされている。

0702 留年者については、進級判定の教授会[0702j][0702k]を実施し、情報の共有がなされている。

0702 休学者については、休学に入る前に指導教授が面談を行い、休学者に関する意見書[0702l]を作成するとともに、学生の作成する復学計画書[0702m]の作成を指導し、休学中のケアを行っている。

0702 学生の相談に応じる体制としては、オフィスアワーその他の時間に指導教授が対応するほか、内容によっては、学科主任が相談に乗ったり、学生相談室[0702n]を活用したりしている。

0702 ハラスメント防止[0702o]のための体制としては、学科主任が窓口になり対応している他、全学組織として、相談窓口、相談委員、およびハラスメント調査委員会が適切に対応する体制が用意されている。

0702 学科のキャリア支援体制に関しては、キャリア開発担当教員がキャリア委員会規程[0702p]のもと、キャリア支援課と連携して各種ガイダンスやキャリア支援行事を実施している。また、毎月の教授会[0702q][0702r]にて、キャリア開発担当教員によりその月に実施されるキャリア支援行事の案内、周知がなされている。

0702 学生へのキャリア支援に関しては、主にゼミ単位で、各教員が指導生の就職指導やキャリア支援を行っている他、4年生の進路状況調査を定期的実施し、未内定者をキャリア支援課に繋ぐなど、指導教授（ゼミ担当教員）がキャリア支援に関してさまざまな役割を果たしている。

0702 学生の進路に関する支援として、全学でのキャリア教育科目の他、学部専門科目としてキャリア教育関連科目を設置すると共に、課外でのキャリア支援行事（ビジネスマナー講座など）[0702s]を実施している。

0702 インターンシップについては、学部共通の正課科目として「インターンシップA・B」を設置しており、毎年多くの学生が参加するほか、学部の専門科目である「自主活動A・B」では学部独自でインターンシップ先を開拓し、

2・3年生向けに課題解決型のインターンシップを実施している[0702t]。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0702	全学で実施されているインターンシップの他、学部独自でインターンシップ先を開拓し、2・3年生向けに課題解決型のインターンシップを実施している。
項目 No. 0702	ゼミ単位で、就職活動支援をはじめとしたキャリア支援が活発に行われている。
項目 No. 0702	学部独自のキャリア支援行事として、2019年度ビジネスマナー研修[0702s]を学部2・3年生対象に実施した。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	特になし
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
特になし	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0702	インターンシップに関して、学部独自の説明会や研修を実施する。
0702	学生支援についての教員間の温度差を解消するとともに、学部としての組織的支援体制を構築する。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0702	a	2019年度・2020年度役割分担	○
0702	b	学習支援室 https://www3.chubu.ac.jp/student_life/support/study_support_room/	○
0702	c	2019年度学生便覧（該当箇所p. 116）	○
0702	d	2020年度学生便覧（該当箇所p. 116）	○
0702	e	留学・海外研修プログラム https://www3.chubu.ac.jp/international_exchange/program/	○
0702	f	キャリア形成支援プログラム https://www3.chubu.ac.jp/career/support2/	○
0702	g	地域活性化リーダー資格取得ガイド https://www3.chubu.ac.jp/coc-plus/	○
0702	h	地域創生メディエーター	○

		https://www3.chubu.ac.jp/innovation_mediator/	
0702	i	教育支援Tora-net portal https://tora-net.sti.chubu.ac.jp/portal/top.do	○
0702	j	2019年度第12回教授会議事録（進級判定教授会）	○
0702	k	2020年度第12回教授会議事録（進級判定教授会）	○
0702	l	休学者に関する意見書	○
0702	m	復学計画書	○
0702	n	学生相談室 https://www3.chubu.ac.jp/health_promotion/counseling_room/	○
0702	o	ハラスメントの防止等に関する指針 https://www.chubu.ac.jp/current_students/warning/harrasment/index.html	○
0702	p	中部大学キャリア委員会規程	○
0702	q	2019年度経営情報学部教授会議事録	○
0702	r	2020年度経営情報学部教授会議事録	○
0702	s	2019年度経営情報学部ビジネスマナー講座開催のお知らせ	○
※0702	t	2019年度自主活動資料	△

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 8 教育研究等環境

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	S
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	A
		(2)自己点検・評価の結果に基づき、各組織が改善・向上に取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0802 教育研究上必要とされる施設設備等については、「2020 年度の学部等重点事業計画について」[0802a]・「2021 年度の学部等重点事業計画について」[0802b]において施設等に関する物的整備の要請を行っている。	
0802 上記の要望が認められ、2021 年度から本格的に始まる社会連携授業のスタートに向け、アクティブラーニング対応教室の整備が実現し、2020 年度末に完成した [0802c]	
0802 学部内の IT 機器に関しては、IT 管理委員会が設置され、検討が進められている [0802d]	
0806 主任会議において、教育研究等環境の適切性について適宜、検討を行っている。例えば、講義室、ゼミ室、共同計算機室などの整備が必要な場合には、主任会議[0806a]で検討、承認、報告などが行われ、その上で実行される体制となっている。ただし、その適切性について定期的に点検・評価を行うシステムは構築されていない。	
長所・特色 <<箇条書き>> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特になし
項目 No.	

課題事項	《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点
項目 No.	特になし
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0802	2021年度事業計画が採択され、2020年度内に前倒しでアクティブラーニング対応教室の整備が進められた。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0806	資格取得学習室の整備を行う。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0802	a	2020年度の学部等重点事業計画について	△
0802	b	2021年度の学部等重点事業計画について	△
0802	c	学長ヒアリング採択一覧	○
0802	d	2020年度業務分担	○
0806	a	2020年度第4回経営情報学部主任会議事録	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 9 社会連携・社会貢献

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2) 社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
		(3) 地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

<p>現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。</p>	
0902	すべての教員が「教育」を通じて広く社会に貢献している。
0902	COC 事業などの全学的取り組み、教員（ゼミ）単位での取り組みの他、学科に社会連携を前提とする科目である「自主活動 A・B」[0902a]を配置するなど、地域の企業と連携した授業を多く開講する形で社会と連携した教育を実践している。
0902	多くの教員が国や地方自治体での委員会の委員などとして社会貢献を行っている[0902b]。
0902	国際交流に関しては、中国の外交学院との大学院連携（ダブル・ディグリー・プログラムまたはジョイント・ディグリー・プログラム）および研究交流について検討を進め、外交学院の国際経済学院院長ご一行が本学を訪れて意見交換を行うなどしたが[0902c]、諸般の事情により検討がストップしており、今後の課題となっている。
0902	大学が実施している生涯教育のオープンカレッジ[0902d][0902e]に学部の多くの科目を開放するとともに、地域の公開講座の講師などをつとめ、地域への貢献を行っている。
0902	教員個人単位では、各教員のゼミ活動、課外活動、研究活動において、さまざまな社会連携や地域交流、社会貢献活動が行われているものの、組織的な活動としての取り組みには至っていない。
<p>長所・特色 << 箇条書き >> * 先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの</p>	
項目 No. 0902	企業や地域と連携した社会連携教育を積極的に展開している。

項目 No.	多くの教員が様々な委員会活動などを通じた地域貢献をおこなっている。
課題事項	《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点
項目 No. 0902	外部と連携した研究を促進する仕組みづくりの検討を行う。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0902	教員個人単位では、各教員のゼミ活動、課外活動、研究活動において、さまざまな社会連携や地域交流、社会貢献活動が行われている。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0902	多くの教員が行っている社会連携、社会貢献活動を学部として戦略的に活用する方策を検討する。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0902	a	経営総合学科「自主活動A」および「自主活動B」の運用について	○
0902	b	2019年度教育・研究活動に関する実態資料	△
0902	c	外交学院 国際経済学院教員との面談記録	○
0902	d	2019年度オープンカレッジ開講科目一覧	○
0902	e	2020年度オープンカレッジ開講科目一覧	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

2021 年度（対象：2019～2020 年度） 自己点検・評価シート

自己評価組織	経営情報学部
--------	--------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状説明 * 「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120	中部大学経営情報学部教授会規程[1120a]に基づいて経営情報学部教授会を設置しており、議事録も適切に作成されている[1120b][1120c]。
1120	中部大学経営情報学部教授会規程[1120a]に基づいて経営情報学部主任会を設置しており、議事録も適切に作成されている[1120d][1120e]。
1120	教授会の会議資料については、学部ホームページ内教員専用ページ[1120f]に掲載され、必要に応じて閲覧できるようになっている。
1120	学部の各種委員会は必要に応じて、随時、開催され、組織の運営は適切に行われている。また、委員会の議事録[1120g][1120h]はおおむね作成されている。
1120	毎年、年度開始前に、各委員会の必要性などを勘案して、委員会の新設や統廃合およびそのメンバーについて主任会議で検討され、教授会で審議[1120i][1120j]決定されている。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	特になし
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	学部におかれている委員会において議事録が作成されず、議事メモなどにとどまっているケースが見受けられる。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
1120	学部内の各種委員会[1120i][1120j]については、その必要性や活動実績などをもとに、その存続や活動方針等に関して毎年見直しを行っている。

<今後の改善・向上計画>

項目No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	学部内委員会での検討・決定事項については、議事録を適切に作成すると共に学部教授会での報告が行われるよう、構成員へ周知徹底する。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
1120	a	中部大学経営情報学部教授会規程（規程集）	○
1120	b	2019年度 経営情報学部教授会議事録	○
1120	c	2020年度 経営情報学部教授会議事録	○
1120	d	2019年度 経営情報学部主任会議事録	○
1120	e	2020年度 経営情報学部主任会議事録	○
1120	f	学部ホームページ内教員専用ページ	○
1120	g	2019年度 経営情報学部入学者選抜委員会議事録	○
1120	h	2020年度 経営情報学部入学者選抜委員会議事録	○
1120	i	2019年度 経営情報学部業務分担	○
1120	j	2020年度 経営情報学部業務分担	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管